

福井県教職員体育大会 第3回体育部長会での過去の決定事項集 (01年度～18年度)

種目・項目	内容	決定年度	備考
軟式野球	【使用球について】 ・2018年からは公認M号球を使用する。	2017	
軟式野球	【軟式野球の抽選方法について】 ・公式ルールにもとづいて抽選を行います。	2014	
軟式野球	【軟式野球のコールドについて】 ・今までは軟式野球の決勝戦はコールド無しでしたが、真夏の大会ということもあり健康安全面を考慮して、5回以降7点差になった場合、すべての試合でコールド有りとします。	2009	
軟式野球	【競技方法について】 ・決勝はコールドなしだが、試合状況で5回以降7点差にて監督同士の話し合いでコールドも有りとする。	2003	無効(2009～)
軟式野球 ソフトボール	【競技方法・運営について】 ・「会場に応じて特別ルール等を設けることがある。」とすることを申し合せ事項に追加記載します。 理由: 組合員の安全面や運営等において、例えば会場によっては外野のホームランゾーンのラインなど特別ルールが必要になることもあるため。	2016	
軟式野球 ソフトボール	【順位決定について】 ・3チームリーグ戦で、勝ち点制度のもとでも3チーム同点になった場合、得失点差にて順位を決めます。	2013	
軟式野球 ソフトボール	【勝ち点制度について】 ・サッカー等でも採用されている勝ち点制度ですが、野球・ソフトボールで採用して欲しいということでした。「ハッキリと勝負がつくので導入しても良い」という意見もあれば、「じゃんけんも勝負の一つ」という意見もあり、これについても来年度の大会の申し送り事項としたいと思います。	2007	勝ち点制度導入 (2008～)
軟式野球 ソフトボール	【競技方法について】 ・3チームで1会場の場合、トーナメント戦ではなくリーグ戦にする。各チーム2試合できて、4チームの会場と同じく試合数は3試合となる。 <u>1勝1敗の場合は、失点差で順位を決定する。</u>	2003	下線部無効?
ソフトボール	【女子選手の参加規則について】 ・これまでの「女子選手は年齢に関係なく <u>35歳以上とみなし、……</u> 」の部分、チーム編成をしやすくするために「女子選手は年齢に関係なく <u>40歳以上とみなし、…(以下同文)</u> 」と変更。	2017	
ソフトボール	【投捕間の距離について】 ・50歳代および女子の投捕間をこれまでの「12.19m」から「13.11m」とする。	2017	
ソフトボール	【投捕間の距離について】 ・変更せず、「12.19m(50歳代および女子)」の規定を残します。	2013	無効(2018～)

福井県教職員体育大会 第3回体育部長会での過去の決定事項集 (01年度～18年度)

種目・項目	内容	決定年度	備考
ソフトテニス	<p>【順位決定方法について】</p> <p>・競技方法の「・順位決定 (1) 勝数 (2) セット数 (3) 得失点率」の部分。【2002年体育部長会決定済事項】</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>・「(1) 勝敗数 (2) 得失マッチ数 (3) 得失ゲーム数 (4) 得失ポイント数」に変更し、申し合せ事項に記載する。</p> <p>理由: 組合員の競技における順位決定をわかりやすくするため。</p>	2018	
ソフトテニス 女子混合	<p>【女子ソフトテニス存廃と混合ソフトテニスの年齢制限について】</p> <p>・女子ソフトテニスを廃止します。そして、混合ソフトテニスの女子同士が組む場合の年齢制限をなくします。</p>	2014	
ソフトテニス 女子	<p>【競技の実施について】</p> <p>・来年度も例年どおり、ソフトテニス女子チームを募集します。</p> <p>・募集の結果、福井支部・坂井支部以外の支部からもエントリーがあり、計4チーム以上のエントリーがあれば、ソフトテニス女子を実施します。</p> <p>・募集の結果、福井支部・坂井支部からの3チーム以下のエントリーであれば、実施するか中止するか、参加支部の協議によって決めます。</p> <p>・ソフトテニス女子が中止となった場合、女子チームメンバーは、所属支部の混合チームに組み入れて参加することになります。</p> <p>・ソフトテニス女子が中止となった場合、来年度の第3回体育部長会にてソフトテニス女子廃止やソフトテニス混合のルールについて検討します。</p>	2013	
ソフトテニス 混合	<p>【年齢制限について】</p> <p>・ソフトテニス女子が中止になった場合、女子チームメンバーを混合チームに組み入れるため、<u>来年度に限り</u>女子同士の組合せを次のように緩和します。</p> <p>現: 2013年度「女子同士で組む場合には、2人とも45歳以上とする。」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>新: 2014年度「女子同士で組む場合には、少なくとも1人は45歳以上とする。」</p>	2013	

福井県教職員体育大会 第3回体育部長会での過去の決定事項集 (01年度～18年度)

種目・項目	内容	決定年度	備考
ソフトテニス 混合	<p>【ソフトテニス(混合)の年齢制限について】</p> <p>・混合ソフトテニスは、年配の先生方が参加しやすいようにと個人戦からの延長で作られたものでしたが、近年は混合への若い先生方の参加も増え、若い先生が入ったチームが優勝するようになり、年配の先生方が参加しにくいというご意見がありました。年配の先生方が参加しやすくなるよう、以下のように年齢制限を変更します。</p> <p>旧 … 原則として男女でペアを組むが、男子同士(1名は45歳以上とする)、女子同士のペアも可。但し、最低1組は男女ペアを組む。</p> <p>新 … 原則として男女でペアを組むが、男子同士、女子同士のペアも可(男子同士、女子同士で組む場合には、2人とも45歳以上とする)。但し、最低1組は男女ペアを組む。</p>	2012	
ソフトテニス	<p>【ソフトテニス(男・女・混)の試合数について】</p> <p>・ソフトテニス(男・女・混)の試合数について、健康安全面と終了時間を考慮し、7ゲームマッチから5ゲームマッチに変更します。</p>	2009	
バスケットボール	<p>【ルールについて】</p> <p>・来年度は「旧ルール(2014年)」で実施します。ただし、コートラインについては、実施会場にあるラインを使用します。 理由:「新ルール」がまだ周知されていないため。</p>	2015	
バスケットボール	<p>【バスケットボールの使用ボールについて】</p> <p>・ボールは現行通り6号を使用する。</p>	2012	
バスケットボール	<p>【バスケットボール競技の順位決定方法について】</p> <p>・順位については「(1)勝数 (2)得失点差」の順で決定する。</p> <p>・複数チームの優勝はなしとする。</p>	2005	
バドミントン	<p>【オープン参加について】</p> <p>・競技方法8行目「ただし、試合開始時にダブルスの3組が揃っていない場合はオープンゲームとする。」の記載部分。 【2003年体育部長会決定済事項】 ↓ ・競技方法6行目「ただし、試合開始時にダブルスの3組が揃っていない場合はオープンゲームとする。」に記載箇所を変更し、申し合せ事項に記載する。</p> <p>理由:記載箇所変更により、オープンゲームの取り扱いをわかりやすくするため。</p>	2018	
バドミントン	<p>【決勝リーグについて】</p> <p>・決勝がリーグ戦となった場合、「15点、2ゲーム先取の3ゲーム」とします。</p>	2014	
バドミントン	<p>【競技方法について】</p> <p>・『試合開始時に、ダブルス3組がそろっていない場合はオープンゲームとする。』を、競技方法に追加する。</p>	2003	

福井県教職員体育大会 第3回体育部長会での過去の決定事項集 (01年度～18年度)

種目・項目	内容	決定年度	備考
剣道	<p>【剣道(女子団体)の採用と剣道(女子個人戦)の見直しについて】</p> <p>・今まで剣道は男子団体戦のみだったが、新たに女子団体戦を採用し、女子個人戦を廃止する。エントリーを男女別々に行い、女子団体戦については最低2チームの参加で開催となるが、参加チームが1チームの場合は男子団体戦のリーグに入り競技を行う。また、従来どおり女子団体の組めない支部は、男子団体戦に女子の出場を認める。</p>	2008	
卓球 混合	<p>【混合のチーム編成について】</p> <p>・「混合チームは男子40歳以上、女子35歳以上で構成する。女子ダブルス・男子ダブルス・混合ダブルスに出場した者も、シングルスに出場できるが、1人2試合までとする。(男子2名、女子2名で出場可)」に変更し、申し合せ事項に記載する。</p> <p>理由:組合員の競技における参加及び試合出場をわかりやすくするため。</p>	2018	
卓球 混合	<p>【混合のチーム編成について】</p> <p>・混合チームは男子40歳以上、女子35歳以上で構成し、<u>ミックスダブルスを兼ねることができるが、1人2試合までとする。</u></p>	2017	無効(2019～)
卓球	<p>【混合卓球競技について】</p> <p>・予選については2試合目以降も3点先取ではなく、5組目まで試合をする。</p>	2005	
卓球	<p>【競技方法について】</p> <p>A: エントリーチームが11チームの場合、6チームと5チームの2リーグに分ける。6チームの方は3チームのリーグ戦が2つとし、5チームの方は総当たりなどの方法をとる。</p> <p>B: エントリーチームが12チーム以上の場合、手つなぎ戦とリーグ戦を混ぜた2リーグで行う。出来るだけ3チームのリーグ戦を組めるようにして、手つなぎ戦を避ける。</p>	2003	

福井県教職員体育大会 第3回体育部長会での過去の決定事項集 (01年度～18年度)

種目・項目	内容	決定年度	備考												
卓球	<p>【競技方法の変更について】</p> <p>第41回大会まではラージボールを使用していたが、平成12年度現行日本卓球のルールに従っていましたが、第42回大会からはその競技規則をやめて、ラージボールのルールで試合を行うこととなりました。詳細については以下の通り</p> <p>① ネットの高さ……17.25cm</p> <p>② ラケットについて……ラケットの打球面には、表ソフトのオムニグリップが、握りの部分を除くラケット全面いっばいに貼られていなくてはならない。</p> <p>③ 点数について……1ゲームは9ポイント先取した者を勝ちとする。 8対8になった時は、2ポイントリードした者、 10対10になった時は、先に11ポイントになった者を勝ちとする。(3ゲームマッチ)</p> <p>④ 年齢について……男子40歳以上、女子35歳以上で構成し、ミックスダブルスは兼ねることが出来ない。</p> <p>⑤ 試合順序について……</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>順序</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>L D</td> <td>M D</td> <td>MIX</td> <td>L S</td> <td>M S</td> </tr> </table>	順序	1	2	3	4	5		L D	M D	MIX	L S	M S	2001?	
順序	1	2	3	4	5										
	L D	M D	MIX	L S	M S										
混合ソフトバレー	<p>【組合せについて】</p> <p>・予選は3チームもしくは4チーム総当たりのリーグ戦でしたが、来年度からは「<u>予選は3チームの総当たりのリーグ戦もしくは4チームの手つなぎリーグ戦</u>」とします。 理由:決勝を含め1日に4試合を行うには体力的にも厳しいため。また、予選で2試合行ったチームと3試合行ったチームが決勝を行うには時間的な面や体力的な面において差があるため。</p>	2016													
混合ソフトバレー	<p>【アンテナについて】</p> <p>・来年度からは、アンテナを設置します。(アンテナは県教組でコート数分購入) 理由:アンテナのないコートでは判定が難しいため。</p>	2015													
混合ソフトバレー	<p>【点数について】</p> <p>・今年度、年齢制限の部(40歳以上)と年齢制限なしの部とも、21点先取3セットマッチにて実施しましたが、3セット目で負傷する選手が出たことや、終了時刻が遅くなることから次のように点数を変更します。</p> <p>・年齢制限の部(40歳以上)では、第1～3セットとも15点先取とします。</p> <p>・年齢制限なしの部では、第1～2セットは21点先取、第3セットを15点先取とします。(4チームリーグ戦の場合は、15点先取3セットマッチとします。)</p>	2013													

福井県教職員体育大会 第3回体育部長会での過去の決定事項集 (01年度～18年度)

種目・項目	内容	決定年度	備考																																				
混合ソフトバレー	<p>【ルール変更】</p> <p>・1チーム3試合以上できるように、1セット21点マッチだったのを15点マッチとし、今年度実施しました。しかし、ソフトバレーボール競技全日程の終了時刻が早かったため、21点マッチにした方が良いという要望がありましたので、来年度は1セット21点マッチで実施します。</p> <p>【確認事項①】</p> <p>・バドミントンコートに6人が入ってプレーすることに対し、「手狭で、窮屈」「物足りない」「接触によるケガが心配」というご意見がありました。が、「ちょうどよい」「楽しめた」「支部レクリエーションでも実施しているがケガはない」等のご意見も多く、来年度も6人制・バドミントンコートで実施します。(次頁へ続く)</p> <p>【確認事項②】</p> <p>・ジャッジやプレーに支障が出る場面があったため、ネット上のアンテナを取り付けてほしいとの要望がありました。が、バドミントンの支柱へのアンテナ取り付けが困難であること、また、取り付けの場合に起こるプレーへの危険性や支障が大きいとのご意見があり、来年度もネット上のアンテナは取り付けずに実施します。</p>	2012																																					
混合ソフトバレー	<p>【混合ソフトバレーボール競技の実施方法について】</p> <p>・ルールの変更</p> <table border="1" data-bbox="675 820 1735 1614"> <thead> <tr> <th></th> <th>来年度採用ルール</th> <th>前年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コート</td> <td>バドミントンコート□□6.1m×18.4m</td> <td>9m×18m</td> </tr> <tr> <td>プレー人数 ・交替</td> <td>6人(男子1名以上3名以内□女子3名以上常時出場) 交替自由</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>登録人数</td> <td>1チーム□10人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>チーム編成</td> <td>「40歳以上」□「フリー(年齢制限なし)」</td> <td>※同じ</td> </tr> <tr> <td>ネットの高さ</td> <td>2m</td> <td>2.1m</td> </tr> <tr> <td>ポジション</td> <td>ローテーションなし</td> <td>※同じ</td> </tr> <tr> <td>サービス</td> <td>アンダーハンドサーブ□(ネットインあり) サービスラインはセンターラインから3m</td> <td>センターラインから 6m</td> </tr> <tr> <td>得点・セット</td> <td>ラリーポイント制 1セット15点先取□3セットマッチ ジュースなし</td> <td>1セット21点 ジュースあり</td> </tr> <tr> <td>ボールへの 接触回数</td> <td>3回(ブロックのワンタッチはカウントしない)</td> <td>ネット接触で最大4回</td> </tr> <tr> <td>ボール</td> <td>ソフトバレーボール(糸巻きタイプでないもの)</td> <td>糸巻きタイプ</td> </tr> <tr> <td>プレー</td> <td>・オーバーネット禁止 ・男子の場合、前衛ではネットの高さを越えたボールを相手コートに返してはいけない。(ブロックを含む) ・後衛は、アタックラインより前でスパイクを打ってはいけない。 (アタックラインはセンターラインから3m)</td> <td>※同じ</td> </tr> </tbody> </table>		来年度採用ルール	前年度	コート	バドミントンコート□□6.1m×18.4m	9m×18m	プレー人数 ・交替	6人(男子1名以上3名以内□女子3名以上常時出場) 交替自由	9人	登録人数	1チーム□10人	15人	チーム編成	「40歳以上」□「フリー(年齢制限なし)」	※同じ	ネットの高さ	2m	2.1m	ポジション	ローテーションなし	※同じ	サービス	アンダーハンドサーブ□(ネットインあり) サービスラインはセンターラインから3m	センターラインから 6m	得点・セット	ラリーポイント制 1セット15点先取□3セットマッチ ジュースなし	1セット21点 ジュースあり	ボールへの 接触回数	3回(ブロックのワンタッチはカウントしない)	ネット接触で最大4回	ボール	ソフトバレーボール(糸巻きタイプでないもの)	糸巻きタイプ	プレー	・オーバーネット禁止 ・男子の場合、前衛ではネットの高さを越えたボールを相手コートに返してはいけない。(ブロックを含む) ・後衛は、アタックラインより前でスパイクを打ってはいけない。 (アタックラインはセンターラインから3m)	※同じ	2011	
	来年度採用ルール	前年度																																					
コート	バドミントンコート□□6.1m×18.4m	9m×18m																																					
プレー人数 ・交替	6人(男子1名以上3名以内□女子3名以上常時出場) 交替自由	9人																																					
登録人数	1チーム□10人	15人																																					
チーム編成	「40歳以上」□「フリー(年齢制限なし)」	※同じ																																					
ネットの高さ	2m	2.1m																																					
ポジション	ローテーションなし	※同じ																																					
サービス	アンダーハンドサーブ□(ネットインあり) サービスラインはセンターラインから3m	センターラインから 6m																																					
得点・セット	ラリーポイント制 1セット15点先取□3セットマッチ ジュースなし	1セット21点 ジュースあり																																					
ボールへの 接触回数	3回(ブロックのワンタッチはカウントしない)	ネット接触で最大4回																																					
ボール	ソフトバレーボール(糸巻きタイプでないもの)	糸巻きタイプ																																					
プレー	・オーバーネット禁止 ・男子の場合、前衛ではネットの高さを越えたボールを相手コートに返してはいけない。(ブロックを含む) ・後衛は、アタックラインより前でスパイクを打ってはいけない。 (アタックラインはセンターラインから3m)	※同じ																																					

福井県教職員体育大会 第3回体育部長会での過去の決定事項集 (01年度～18年度)

種目・項目	内容	決定年度	備考
混合ソフトバレー	<p>【競技ルールについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールの中に「サーブのネットインを認める。」を明記する。</li> <li>・ルールの中に「男子に代わり出場した女子は、男子と同じ扱い。」の後に「ゼッケン等を着用する。」を明記する。</li> </ul>	2005	無効?
出場規定	<p>【高校支部の出場規定(ブロック割の変更)について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「県立学校(高校)は学校単位とする。但し、人数の関係上、参加できる種目が限られてくる県立学校は同ブロック内の県立学校(高校)を組み合わせたチームで出場可能。」に変更し、実施要項に記載する。</li> </ul> <p>【改訂後6ブロック】</p> <p>坂井・奥越地区高校…三国・金津・丸岡・坂井・大野・明成・勝山  福井地区高校…藤島・高志・羽水・足羽・福農・科技・福商・道守  丹南地区高校…鯖江・丹南・丹生・武生・武生東・武工・武商  敦賀…敦賀・敦工・美方・嶺南東  若狭…若狭・若狭東・嶺南西  嶺北地区特別支援学校…嶺北・奥越・盲・ろう・福井・福井東・福井南・南越・清水</p> <p>(今回の決定で高校支部の同ブロック内の合同チームの申請は必要なくなるが、)  * 旅費の支払い規程はこれまで同様に合同チームの支払いと同じ扱いとする。</p> <p>理由:ブロック割の変更により、学校種毎の練習やチーム編成が容易になることで参加しやすくなるため。</p>	2018	
合同チーム	<p>【高校支部の合同チーム出場について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「県立学校(高校)は学校単位とする。但し、人数の関係上、参加できる種目が限られてくる県立学校は<u>同ブロック内の県立学校(高校)を組み合わせた合同チームで出場可能。</u>」に変更。</li> </ul>	2017	無効(2019～)
合同チーム	<p>【高校支部の合同チーム出場について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校支部において、2つの学校を組み合わせた合同チームでの出場を可能とします。</li> </ul> <p>理由:1学校によるチーム編成が困難であること、多くの参加を促すことを目的としていることから。</p>	2015	
合同チーム	<p>【出場について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同チーム名は、別紙1のとおり「組合員の少ない支部名」あるいは「合同名」のいずれかとします。</li> </ul>	2013	
合同チーム	<p>【支部合同チームの出場規定について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2007年度の第3回体育部長会で、「人数の関係上、参加できる種目が限られてくる支部は近隣支部合同のチームで出場可能」と決定し、体育大会実施要項にもその旨を記載しておりましたが、「近隣支部」という表記は曖昧だったため、この意味を明確にするために「隣接する支部」とします。それに伴い、体育大会実施要項の文言も変更します。</li> <li>・「ふるさと選手制度」については、検討が不十分であり、次年度以降の申し送り事項とします。</li> </ul>	2012	

福井県教職員体育大会 第3回体育部長会での過去の決定事項集 (01年度～18年度)

種目・項目	内容	決定年度	備考
合同チーム	<p>【支部合同チームでの参加について】</p> <p>・2007年度の第3回体育部長会で、「組合員の少ない支部からの意見で、人数の関係上、参加できる種目が限られてくるということから、希望の種目に参加できるように近隣支部合同のチームで参加できることになりました。」と決定しておりましたが、各支部に上手く伝わっておりませんでしたので、改めて体育大会実施要項に記載致します。その際の旅費の分配などの細かい部分については、支部同士での話し合いになります。</p>	2010	
合同チーム	<p>【支部合同チームでの参加について】</p> <p>・小規模支部からの意見で、人数の関係上、参加できる種目が限られてくるということから、希望の種目に参加できるように近隣支部合同のチームで参加できることになりました。</p>	2007	
新種目	<p>【高齢者にも参加しやすい競技の導入について】</p> <p>・11月20日の福井県教組中央委員会でも「各種目における細かなルールの変更だけではなく、例えば、高齢者にも参加しやすい新種目の導入も含めた体育大会の抜本的改革」というご意見をいただきました。来年度大会に向けてはすでに種目や会場等の仮押さえなど、計画が進んでいるという現状もございますので、来年度の体育部長会や今後、新たに検討委員会を立ち上げる等して、来年度の早い段階から検討し、再来年度大会に備えたいと存じます。よろしくお願い申し上げます。</p>	2010	
新種目	<p>【ニュースポーツの導入について】</p> <p>・ゴルフやボーリング・ペタンクなど色々な意見が出ましたが、現行の競技数からさらに増やすことは開催支部(実行委員会)の負担になり、参加費・練習費の問題や開催地に競技場がない場合も考えられます。また、どれかの競技種目を減らしてニュースポーツを導入する場合、どの競技もこれまでの伝統があり止めるわけにはいかないと思います。</p> <p>・今後、ニュースポーツの導入については、現在の競技種目が実施不可能となった場合に、どの種目を導入するか協議することとします。</p>	2009	
新種目	<p>【新種目(ボウリング)について】</p> <p>新種目の採用についてアンケートをした結果について、来年度への引継ぎをお願い致します。県教組としても新年度の第一回体育部長会でご報告する予定です。</p> <p>採用を見送る理由として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催地にボウリング場がないところがある。</li> <li>・練習についてはお金がかかることもあるし、世間の目が気になる。</li> <li>・支部によっては現段階の大会で精一杯で会場確保等が難しい。</li> <li>・何らかの種目を削らない限りは無理である。</li> </ul> <p>その他の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペタンクは分かりづらい上、普及していない。</li> <li>・フットサルは現在の種目数で人数が集まるかどうか疑問。</li> </ul>	2006	

## 福井県教職員体育大会 第3回体育部長会での過去の決定事項集（01年度～18年度）

種目・項目	内容	決定年度	備考
組合せ	<p>【ソフトテニス・バスケ・バレー・バド・剣道・卓球・混合ソフトバレーの競技方法について】</p> <p>・各競技の予選に関して、「出場エントリーチーム数によっては、総当たりのリーグ戦が組めないために、4チームの手つなぎリーグ戦になったり、5チームによる変則リーグ戦になったりして、その結果、予選全勝したにもかかわらず、得失点率などにより決勝トーナメント進出できない、若干すっきりしない、時間調整のためセットカウントを下げ総当たりのリーグ戦を実施してはどうか」との意見がありました。事務局で検討した結果、実行委員会や各競技部、審判部による運営が煩雑になり、かえって混乱を招いてしまうとの判断により、来年度も現行のままの申し合わせ事項に沿って実施することとします。「ソフトバレーボールを9人制→6人制または4人制に変更してはどうか」との意見も含めて来年度への申し送りとします。</p>	2010	
組合せ	<p>【手つなぎリーグ戦について】</p> <p>・4チームのブロックに入った場合に、トーナメント方式だと初戦で敗れた場合は決勝戦進出の可能性が完全に無くなります。また3位決定戦は交流試合でしかなく、なかなかモチベーションを高めることができません。初戦で敗れたとしても次の試合に決勝戦進出の可能性が残されているような競技方法にしたらどうかという意見があり、手つなぎリーグ方式が採用された経緯がありますので、今後も手つなぎリーグ戦を採用していきます。</p>	2009	
組合せ	<p>【1部・2部制の採用について】</p> <p>・バドミントンで1部・2部制を採用して欲しいという要望がありましたが、部長会で出た意見としては、「全種目1部・2部に分けるのならいいが、バドミントンだけというのは・・・」「専門と素人の差があり過ぎるので、採用して入れ替え戦をして欲しい」「本来の目的は親睦で、楽しむのが目的なので勝ちにこだわるのはどうか？」と意見はバラバラだったので、来年度の大会の申し送り事項としたいと思います。</p>	2007	その後、不採用
組合せ	<p>【3チームのリーグ戦について】</p> <p>今大会の対戦順は[ ① — ② , ② — ③ , ③ — ① ]というように最初から対戦相手が決定していた。その結果、第1試合と第2試合に続けて勝った場合、第3試合は消化試合となり盛り上がり欠ける印象があった。そこで、今後、第1試合で勝ったチームは第3試合まで待つようにしたいと思う。[ ① — ② , 第1試合の敗者 — ③ , 第1試合の勝者 — ③ ]</p>	2006	

福井県教職員体育大会 第3回体育部長会での過去の決定事項集 (01年度～18年度)

種目・項目	内容	決定年度	備考
<p>組合せ</p>	<p>【ソフトテニス・バドミントン・バレーボール・卓球・剣道の競技方法について】</p> <p>これまで1会場7チーム参加の場合に、予選の競技方法を3チームと4チームの2つのブロック分けて実施しています。そして3チームの方はリーグ戦で実施、4チームの方はトーナメント戦(ブロックの3位決定戦に含めて4試合)で実施していました。そして両ブロックの1位同士で決勝戦をしていました。</p> <p>4チームのブロックに入った場合に、トーナメント方式だと初戦で敗れた場合は決勝戦進出の可能性が0になります。ブロックの3位決定戦は交流試合でしかなく、なかなかモチベーションを高めることができません。初戦で敗れたとしても次の試合に決勝戦進出の可能性が残されているような競技方法にしたらどうかという意見があり、手つなぎリーグ方式になりました。試合数は4試合なのでトーナメント方式の場合と変わりません。</p> <p>また、軟式野球・ソフトボール・バスケットボールは従来どりの競技方法で行う予定です。混合ソフトバレーボールについて4チームの手つなぎリーグ方式を採用するかどうかは、来年度の第一回体育部長会で審議し決定する予定です。</p> <p>・予選はリーグ戦で行う(3チームか4チームで1リーグ)1チーム2試合ずつ          ・3チームの場合は総当たりのリーグ戦          ・4チームの場合は手つなぎリーグ方式</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: left;"> <p>① A - C              ② D - B              ③ C - D              ④ B - A</p> </div> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="text-align: right;"> <p>順位決定方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 勝敗</li> <li>2. セット率</li> <li>3. 得失点率</li> </ol> </div> </div> <p style="text-align: center;">※決勝戦は各リーグの1位同士でおこなう。</p>	<p>2002</p>	
<p>運営</p>	<p>【総合開会式前の練習について】</p> <p>・総合開会式とその会場で行われる種目の会場が重なっている場合、「早朝から会場入りしても総合開会式の準備のため試合前の練習ができない」との意見がありましたので、次年度より可能な限り事前練習ができるよう配慮し、練習ができるのかできないのかの情報提供をできるだけ速やかに各支部へ行いたいと思います。</p>	<p>2010</p>	
<p>救援</p>	<p>【怪我をした場合の対応について】</p> <p>・第3回体育部長会でもご説明致しましたが、会場で怪我が起きた場合の手続きについて明文化いたしましたので、再度ご確認ください。</p>	<p>2010</p>	

## 福井県教職員体育大会 第3回体育部長会での過去の決定事項集 (01年度～18年度)

種目・項目	内容	決定年度	備考
意義	<p>【体育大会の開催について】</p> <p>・今からさかのぼること50年前、1960年の8月19日に第1回の教職員体育大会が福井市で開催されました。1960年当時は、いわゆる勤務評定闘争で県教委と県教組が6月頃から、二日に一度という激しい交渉をしていました。この激しい闘いの中で、県教委と県教組が休息の意味で設けられたのが、この教職員体育大会だったということです。交渉で疲れた心と体をリフレッシュする意味で、スポーツが選ばれたのだと思います。福利厚生面において教職員の健康増進を図るためにも、県も実施していくべき事業だと考えています。これまで先輩達が築き上げてきた伝統ある大会を今後も継続していくことが組合の力だと考えています。</p>	2009	
その他	<p>【選手のエントリーに関して】</p> <p>例年、練習しても大会にエントリー出来ない人もいたという意見がありましたので、今まではプログラムに掲載する選手数は登録人数分だけだったのですが、ある程度その登録人数を超えても掲載出来るようにしました。しかし、試合毎の登録人数は従来どおりの決まった人数分しか登録出来ません。</p>	2002	
その他	<p>【屋外競技の中断・中止の判断について】</p> <p>・降雨、雷による中断・中止を決める場合、まず会場責任者の判断で選手を避難させ、天候の様子を見ながら、会場責任者、競技主任、審判の協議の上、決定します。</p>	2014	
その他	<p>【確認事項】</p> <p>・本部、支部において安全運転の徹底をはかること。</p> <p>・本大会は、教職員自らの手で運営するものである。よって、本部および実行委員会は審判や係等に生徒を動員しない</p> <p>・けがや試合順変更等、予期せぬ事態に備え、支部は各チーム(会場)に1名の部長(責任者)を配置すること。</p> <p>・試合順が変更になった場合、実行委員会から各支部応援団への連絡は困難であるため各チームから連絡すること。</p> <p>・優勝チームの写真撮影について、ふくい教育新聞号外版に掲載されるにふさわしいものとなるよう、本部は実行委員会をとおし担当者に伝えること。</p>	2014	
その他	<p>【早朝の屋外競技の中断・中止の判断について】</p> <p>・従来よりも30分遅らせ、5:30～6:00の間に会場責任者が判断し、各支部へは6:00～6:30の間に中止の連絡をします。ただし、その時の天気状況に応じて対応します。また、開催地から遠方の支部については、抽選会の時に申し出があれば屋外競技の試合時間を配慮します。</p> <p>理由：舞鶴若狭自動車道が開通したことにより、30分遅らせて天気の状況をみて判断しても対応できるから。</p>	2015	
その他	<p>【試合球について】</p> <p>・来年度からバドミントンのシャトルを現在の「第1種検定球」から「第2種検定球」に変更します。</p> <p>理由：他競技よりも価格が大きく上昇しており購入数も多いため。</p>	2015	
その他	<p>【救護係の確保について】</p> <p>・組合員の養護教諭の人数(産休・育休や病休等は除く)が会場数よりも少ない場合については、県教組が救護担当者を確保していくことにします。</p> <p>(→役員・諸系の決定が優先である前提)</p>	2016	

福井県教職員体育大会 第3回体育部長会での過去の決定事項集 (01年度～18年度)

種目・項目	内容	決定年度	備考
その他	<p>【部長・監督の兼任について】</p> <p>・「けがや試合順変更等、予期せぬ事態に備え、支部は各チーム(会場)に1名の部長(責任者)を配置すること。但し、<u>やむをえない場合においては、部長が兼任可、監督は兼任不可とする。</u>」に変更。</p>	2017	
その他	<p>【参加資格の変更について】</p> <p>・病休・育休・産休・介護休代, 市町費採用教諭等の出場を認める。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>・福井県教職員組合に加入することができない者で、県内の小・中学校に勤務し、登録料(保険料等)を期日までに納入した者の参加を認める。ただし、前年度体育部長会での参加資格条件を合わせて確認すること。</p> <p><u>2018第4回体育部長会での参加資格条件</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 非組合員(自らの意思で組合加入しない人)の参加は認めない。</li> <li>2. 市町職員で学校勤務実態がない人の参加は認めない。</li> <li>3. 県・市町教委、福大附属などへ異動前まで組合員であった者(異動に伴い、やむを得ず学校外の籍となり組合から外れた者)の参加は認め、登録料(保険料等)は納付を必要としない。</li> </ol> <p>◇<u>登録料(保険料等)の集金とその用途について</u></p> <p>1人あたり500円を原則とする。ただし、各支部の状況に応じて支部が登録料を決めて徴収し、その全額を支部の体育大会関係費に組み入れることとする。</p> <p>・スポーツ保険についてはこれまで同様に、大会当日の保険料は県教組が負担。練習の時の保険料は、登録料(保険料等)として支部で取り扱うものとする。</p>	2018	